

謹賀新年

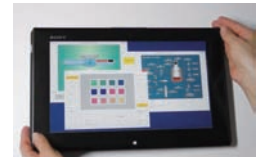
旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2013年 ニュース・イベント・ピックアップ (それぞれをクリックして詳細へ)

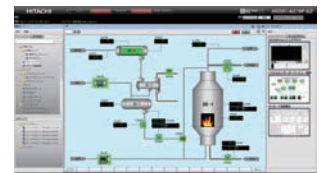
- 1/25 「ログファイルやアプリケーション・サーバからの性能データを可視化して監視
～ビッグデータ運用におけるスマート・モニタリングの構築事例とデモ～」
Application Performance 2012 拡大版セミナー開催 @ 青山スタジアムプレイス
- 2/27-3/1 SL ジャパンは、国際スマートグリッド EXPO に東芝が出展した「スマートコミュニティ・
マネジメント・システム」の展示デモにおいて、高性能メッセージング・バスと接続して
リアルタイムな可視化と監視ができる RTView を提供して協力
- 3/12 明電舎が、次世代型ビル・エネルギー管理システム「明電スマート BEMS (Building
Energy Management System)」に SL-GMS 採用：米 SL 社の Microsoft .NET を
ベースにしたダイナミック GUI とカスタム・エディタ技術を組み込み提供 (右上画面 ↗)
- 3/28 SL ジャパン、Microsoft .NET ベースの SL-GMS の新バージョン 4.2a で Windows 8 タブレットを
サポート：新たに Visual Studio 2012 を使った Windows アプリケーション開発に対応 (右画面 →)
- 4/3 日立製作所が、未来の製造プラントを担う新しいデジタル統合監視制御システム
「HIDIC-AZ シリーズ」に、Microsoft .NET ベースの SL-GMS を採用：
ダイナミック GUI/HMI とシステム専用のカスタム・エディタとして組み込み再販 (右画面 →)
- 4/30 SL 社、アプリケーション (APM) ならびにサービスレベル・システムを監視する RTView
Enterprise Monitor 1.2 を発表：データならびに性能指標の迅速な綴り合わせを
可能にし、カスタムな監視画面、分析、アラートでアプリケーション運用をサポート
- 5/9 米 SL 社、分析ならびにアラート機能を強化した、RTView Oracle Coherence Monitor
新バージョン 6.0 をリリース：分析機能の拡張によって、Coherence 専門家への依存度を
軽減、ログファイル解析工数を最小化
- 6/12 「SL-GMS による、比類なく Web 運用に強い監視制御システムとその専用カスタム・
エディタの構築技法 ～ Windows 8 タブレットによるデモと大手各社ユーザー様による
豊富な適用事例を画面とともにご紹介」セミナー開催 @ 青山スタジアムプレイス (右写真 →)
- 6/18-19 SL 社、New York で開催の SIFMA Tech 2013 @ Hilton New York に出展・講演：
「上昇するアプリケーション・サポート・コストをコントロールする4つの技法事例」について解説
- 9/18 SL ジャパンの代表取締役社長である羽島良重が、御茶ノ水ソラシティで開催された Application
Performance 2013 で講演：「ビジネスやサービスが見える一元監視システムをカスタム構築
～ログ、SNMP、運用管理ツールなど既存の性能データの可視化と監視～」(右下写真 ↘)
- 9/22-26 SL 社、Oracle OpenWorld 2013 San Francisco に出展：
Oracle Coherence Monitor をはじめ、WebLogic アプリケーションや Oracle CEP の
監視、VMware で稼働する Oracle 環境の監視
- 9/24 SL ジャパン、SL-GMS Developer ならびに Custom Editor for Microsoft .NET の
新バージョン 4.3a をリリース：ダブル・バッファリングならびにグラデーション機能を拡張し、
最も高度な監視制御システムの開発で支援強化
- 9/27 RTView 新バージョン 6.2 リリース：データ・サーバ、ディスプレイ・サーバ、インメモリ・キャッシュ、
JMX データ・アダプタなどの機能でさらなる性能強化
- 11/20 「ビジネスやサービスが見える一元監視システムをカスタム構築
～ログ、SNMP、運用管理ツールなど既存の性能データの可視化と監視～」
AP 2013 拡大版セミナー開催 @ 青山スタジアムプレイス
- 12/12 SL ジャパン、SL-GMS C++/Developer の新バージョン 6.4a をリリース：
世界のミッション・クリティカルな監視制御システムで稼働し続けるロングセラー
- 12/25 SL ジャパンは、2013 年度 (12 月決算) の利益の一部から、
日本赤十字社に 500,000 円を寄付しました。



(株)明電舎様ご開発：次世代型ビル・エネルギー管理システム「明電スマートBEMS」



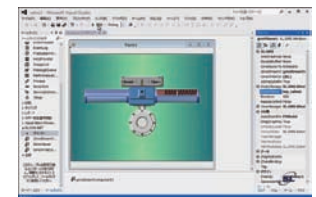
Windows 8 タブレットで稼働する SL-GMS Developer for .NET



(株)日立製作所様ご開発：産業向けのデジタル統合監視制御システム「HIDIC-AZ」



SL-GMS セミナ @ 青山スタジアムプレイス



Microsoft Visual Studio 2012 を使った、SL-GMS Developer for .NET アプリケーションの開発「デモビデオ」(4:55)



Application Performance 2013 @ 御茶ノ水ソラシティ



「ログデータのリアルタイムな可視化と監視」デモビデオ (4:51)

世界のミッション・クリティカルな監視制御システムで稼働し続けるロングセラー

2013年12月12日(日本時間) プレス・リリースより

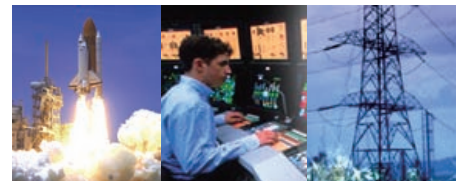
リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする SL ジャパンは、監視制御系のダイナミック GUI 開発ツールである SL-GMS C++/Developer ならびに C++/Map, C++/Net, Custom Editor オプション製品の最新バージョン 6.4a を、32 bit ならびに 64 bit エディション製品の両方でリリースしたことを発表しました。

今回の SL-GMS C++/Developer 最新版では、新たに Visual Studio 2012 ならびに Windows 8 のサポートを追加した他、ダブル・バッファリング機能ならびにグラデーション機能を拡張、透過オブジェクト(PNG)を新たにサポートなど、引き続き継続的な製品強化を図っています。

SL-GMS C++/Developer は、1983 年以来、世界の管制センターや制御室における 1 万におよぶミッション・クリティカルなリアルタイム監視制御システムの可視化で活躍してきた、ロングセラー製品です。1980～1990 年代に開発されたシステムが今日もなお稼働、組み込み再販されている一方で、SL-GMS C++/Developer は毎年新しいプロジェクトで採用され続けています。

☆本プレス・リリース全文:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2013/sl_j_press_131212.shtml



DCIM (データセンター・インフラストラクチャ・マネジメント) への RTView 適用例【新デモビデオ】

ビジネス・サービスを支えるアプリケーションと IT インフラ、さらにはそれを支える電源や空調などの物理インフラの監視データを関連付けて一元可視化

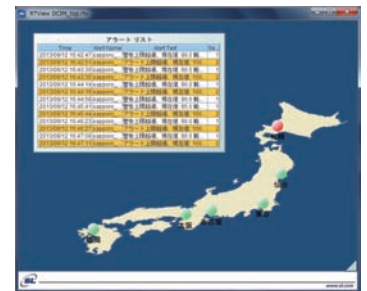
省エネや運転コスト削減の対策で、データセンターにおける物理インフラ(電力・空調設備など)と IT インフラ(サーバ、ストレージやネットワークなど)を統合的に監視することで、データセンター全体の運用効率と可用性の最大化を図る、DCIM(データセンター・インフラストラクチャ・マネジメント)が注目されています。

データセンターのビジネス・サービスを支えるアプリケーションと IT インフラ、さらにはそれを支える電源や空調などの物理インフラの監視データを関連付けて一元可視化し、リアルタイムにかつ包括的に監視できる「スマート・モニタリング」の構築は、RTView が得意とする適用例です。

どのような監視データにもすぐに接続できる RTView では、ビル管理システムなどで設備管理者に提供されている既存の物理インフラの監視データと、さまざまなシステム運用管理ツールや監視ツールで、IT システム管理者に提供されている既存の IT インフラのデータ (IT 機器の運転状態やネットワーク状態) をインメモリでリアルタイムに集約し、ビジネス・サービスとアプリケーション、IT インフラ、物理インフラを関連付けて可視化し、アラートやヒストリオン(履歴)とともに一元監視できるシステムをカスタム構築できます。

☆「DCIM への RTView 適用」デモビデオ(0分56秒):

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/DCIM_demo_video/DCIM_demo_video.html



RTView によるアラートと対応アクションのカスタム設定【新デモビデオ】

RTView ではリアルタイムなアラート・エンジンを備えており、Builder のダイアログでしきい値や生成条件などを対話的にカスタム設定し、アラート画面もテーブル、グラフ、メータ、独自の部品などで、自由自在にカスタム構成することができます。

アラート定義には、しきい値、深刻度、通知ポリシーなどの他、電子メール、システム・コマンド、SQL 文の実行や JMS メッセージ送信などの自動アクションを含めることができます。

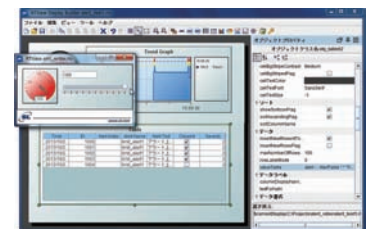
アラート定義はいつでもロード可能で、そのカスタム画面もいつでも作成して、アラートの状態を監視できます。そしてアラートのフィルタリングやドリルダウン・ナビゲーションで分析を行ったり、アクションを調整、またアラートを認知/抑制したりなど、さまざまなアラート状態を対話的に変更することが可能です。

RTView では、次の4種類のアラート・タイプをサポートしています:

- ・しきい値によるアラート
- ・離散型(特定値による)アラート
- ・複数条件のアラート
- ・外部イベントに連動するアラート

☆「RTView によるアラートのカスタム設定」デモビデオ(2分36秒)

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/rtview_alert_demo/rtview_alert_demo.html



Real-Time Visibility

年3回発行 2014年1月10日発行 通巻47号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。